

## 福祉サービス第三者評価 評価結果

# にじいろ保育園サクセス東戸塚

横浜市戸塚区川上町 85-1

運営主体： 株式会社サクセスアカデミー

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4～5 ページ
分類別評価結果	6～17 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	18～25 ページ
利用者本人調査分析	26～27 ページ
事業者コメント	28 ページ

2009年3月27日公表

実施機関： 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 実施概要

事業所名	にじいろ保育園サクセス東戸塚	
報告書作成日	2009年3月27日	評価に要した期間 約7ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま	

## 評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間:2008年9月上旬 ~2009年1月7日</p>	<p>職員会議で趣旨を説明し、全ての職員(常勤・パート)が個々に記入した。</p> <p>個々に記入した自己評価票を持ち帰り、まずクラス毎に話し合い、さらに乳児クラス、幼児クラスという枠で意見交換を行った。</p> <p>を元に全体会議を開き、常勤・パート・看護師・栄養士も一緒になって一項目ずつ意見交換しながら確認し合意した。</p> <p>第三者評価担当者3名と主任が大まかなまとめを行い、園長が最終確認してまとめ上げた。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間:2008年12月1日 ~12月14日</p>	<p>事業者から全園児の保護者(60家族)に直接手渡しで配布した。各保護者から同封の返信用封筒にて、評価機関へ無記名で返送してもらった。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 2009年2月6日 第2日 2月9日</p>	<p>[第1日]</p> <p>午前:各クラスで保育観察。朝のミーティングの様子も観察。 昼食:幼児クラスで子どもたちと一緒に食べながら保育観察。 午後:書類調査および園長・主任・本部職員に面接調査(評価項目、 )。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前:登園の様子や朝のミーティングの様子も観察。各クラスで保育観察。 昼食:幼児クラスで子どもたちと一緒に食べながら保育観察。 午後:各クラスリーダー、栄養士、看護師、非常勤職員、主任にヒアリングを行う。その後、園長・主任・本部職員に面接調査(評価項目、 、 、 )。最後に意見交換を行った後、園児の降園の様子を観察。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日:第1日 2009年2月6日 第2日 2月9日</p>	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施。園外活動にも同行した。</p> <p>聞き取り調査は、5歳児を中心にして給食時間や園外活動、保育室などで適宜実施した。</p>

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【施設の概要】

にじいる保育園サクセス東戸塚は、JR 東戸塚駅から徒歩 5 分、大きなビルの 1 階部分に位置しています。園の入口が面している裏通りは車の通りも少なく、道を挟んで反対側には高齢者福祉施設のケアハウスや医療福祉系専門学校があります。

園には砂場や木製のデッキ、花壇があり、四季折々の花や野菜の栽培が体験できるようなスペースがあります。園の周辺には、少し歩けばさまざまな公園があり、散歩の行き先には事欠きません。

当保育園は、2006 年（平成 18 年）4 月、定員 60 名で開園しました。平日は午前 7 時から午後 8 時、土曜日は午前 7 時から午後 6 時まで開園しています（延長保育時間を含む）。

運営法人は株式会社サクセスアカデミーです。法人では保育園や学童クラブの運営を行っています。現在、保育園は東京・神奈川・千葉で、認可園 10 園・認証保育園 3 園を運営しています。

保育理念は、「みんなが輝く 社会のために」とし「陽だまりのように温かい保育園」「地域と共に育つ保育園」「子供と共に輝いていける保育園」の 3 つをあげています。保育目標は「みとめ愛（信頼）・みつめ愛（安定）・ひびき愛（共感）」として、自然を愛し、心身ともに健康な体 意欲と根気のある子ども 仲間と関わり、人を思いやれる子ども 自己を表現できる子ども 想像し考えて行動する子ども 基本的習慣を身につけ、健康で元気に遊ぶ子ども を掲げています。

### 高く評価できる点

#### 1、家庭的な雰囲気の中で子どもたちは園生活を楽しんでいきます

0 歳児は、登園すると保育士に優しく抱かれて保育室へ行き、絵本を読んでもらったり、保育士手作りのおもちゃで遊んだりします。1 歳児は、お話もできるようになって歌を歌ったり手遊びを楽しんだり保育士に見守られて過ごしています。2 歳児は友達と遊ぶ楽しさが芽生え一緒に積み木で遊んだり、歌ったり合奏をすることを楽しんでいきます。

3、4、5 歳児は、一緒に行く朝の会で保育士が姿勢正しく歌っているのを見習いながら、大きな口をあけてきれいな声で楽しそうに歌を歌います。年上の子どもたちが上手に歌っているのを見て 3 歳児も見習って一生懸命に歌っています。怒鳴って歌う子どもは一人もいませんでした。

子どもたちは保育士の話を静かに聞き、給食の準備を待っているときも静かにしていることができます。年上の子どもたちは、乳児クラスのお手伝いをしたり、遊びの中で困っている年下の子どもがいると助けたりと面倒をよく見えています。

子どもたちは、食事の前、トイレの後、戸外から帰ったときなど必ず手洗いを行います。看護師や保育士の手洗い指導が適切に行われているのが分かります。

園の近くにはいくつもの公園があり、できるだけ毎日散歩に出かけています。公園に着くと保育士はまず公園内の点検を行います。危険なところがないか確認し、ゴミがあれば拾って安全確認をした後に子どもたちを遊ばせるようにしています。公園で子どもたちはボール遊びや汽車ごっこ、縄跳び、鉄棒、かけっこ、たこ揚げ、滑り台、ブランコ、木登り、消防レスキュー隊ごっこなどの好きな遊びに熱中しています。

子どもたちは、もめごともなく落ち着いていて、保育士に見守られながら一人ひとりの個性や発想を大切にしてもらい、陽だまりのような温かい一日を保育園で過ごしています。

## 2、職員はコミュニケーションよく、連携して保育にあたっています

毎日の朝のミーティングは、園長、主任、各クラスリーダーが参加して行われています。このミーティングで話された事柄は各クラスに持ち帰り、速やかに他の保育士へ伝達され、保育士全員がミーティングの内容を把握して一日の保育が始まります。

職員は、職員会議、各クラス会議、リーダー会議、給食会議等を通して子どもたちの様子や保護者の様子などについても話し合い、さらに特に配慮を要する子どもの場合は、職員間で周知し、気をつけて見守るなどの配慮をしながら日々の保育に取り組んでいます。

常勤の看護師は、その専門知識を活かして手洗い・歯磨き指導や感染症対策についても適切な指導を行って、子どもたちの日常を見守り、健康な生活を保障しています。

給食は、栄養士を中心にして提供され、献立内容に気を配り、行事ごとの献立にも工夫をしています。残食はほとんどありません。

毎月発行されている給食だよりや献立表、保健だよりには有用な内容が盛り込まれ、充実した内容になっていますし、園だより「にじいろだより」と各クラスだよりの内容も随所に心配りがされていて、保護者へ安心を届けています。

このように職員は園長指導の下、各種会議を通して密接に関わりあいながら連携して保育に携わっています。

## 3、職員は各種の研修に意欲的に参加し、自己研鑽に努めています

本部が作成している保育に関するマニュアルを網羅した「保育ガイド」は、日々の保育の中でも活かされ、新任研修や現任研修でもテキストとして使われています。さらに園では感染症対策や清掃等について、写真等も取り入れた分かりやすい園独自のマニュアルを作成し、日常の保育に役立てています。

個々の職員の研修では、園長や主任が研修情報を収集して職員に提示し、その中から職員は自分の資質をさらに高められるような研修を選んで受講し自己研鑽に励んでいます。また主任は、できるだけ職員が受講しやすいように勤務シフトの調整をして支援しています。

現任研修「あそびの研究発表」では、全クラスが遊びの研究に取り組みました。4、5歳児クラスではオリンピックを契機として子どもたちの興味や関心、期待感を育みながら、さらに国内外の様々なニュースにも関心を持たせるなど、子どもたちの意欲を上手に引き出しながら盛り上げていく保育を実践し発表しました。

本部で行われる園長会議、主任会議、給食会議、看護師会議などでもお互いの園の情報を交換しながら、さらに充実した保育の実践に向けて努力している様子がうかがわれます。

## 今後の取り組みが期待される点

### 1、園の専門性を活かして地域支援に一工夫を

園は駅に近く、利用者にとっては大変便利な立地条件にあります。しかし園舎は表通りに面していないということで人通りも少なく、せっかくの園の掲示板も活かされていないのではないかと思います。当園は、温かい家庭のような保育園を目指し、その成果が現れつつあります。2009年3月末には、子育て支援拠点「とっとの芽」もすぐ向かいのビルの中に開設される予定があり、積極的な交流が可能になります。今後は、保育士、看護師、栄養士という専門家集団の特性を生かして、町内会や学校などとの連携を図りながら、園の専門性を活かした地域支援の取り組みが期待されます。

## 評価領域ごとの特記事項

※ かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って、記載しています。

### 1、人権の尊重

- ◇ 保育の理念は「みんなが輝く 社会のために」とし、「陽だまりのような温かい保育園」「地域と共に育つ保育園」「子どもと共に輝いていける保育園」の3つをあげています。さらに、保育目標は「みとめ愛（信頼）・みつめ愛（安定）・ひびき愛（共感）」として、①自然を愛し、心身ともに健康な体 ②意欲と根気のある子ども ③仲間と関わり、人を思いやれる子ども ④自己を表現できる子ども ⑤想像し考えて行動する子ども ⑥基本的習慣を身につけ、健康で元気に遊ぶ子ども を掲げ、利用者本人を尊重したものとなっています。
- ◇ 職員は、保育ガイド（業務マニュアル）、行動規範をもとに人権についての研修を受けています。また、守秘義務や個人情報の取り扱いに関するマニュアルを備え、研修や会議を通して全職員に周知しています。なお個人情報に関する書類は施錠できる書庫に収納しています。
- ◇ 虐待の定義が全職員に周知され、研修も受けて、職員間で共有しています。

### 2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ◇ 清掃マニュアルに則って保育園の内外は清潔に保たれています。沐浴設備はマニュアルに則って清掃され、清潔に保たれています。また、窓の開閉を気をつけて行うなど、部屋の換気や湿度にも配慮して良好な環境の維持に努めています。
- ◇ 園舎は開口部が広く、陽光が良く取り入れられる造りで明るい保育室となっています。
- ◇ 保育室には、子どもの発達に応じた遊具や絵本を準備して、いつでも子どもたちが自由に手に取り遊べるようになっています。また、室内は柵やパーテーションで仕切り、子どもたちが安心して過ごすことができるよう工夫されています。
- ◇ 保育士は、絵本や新聞等の情報から子どもたちが関心を持った事柄について、遊びの中でさらに継続できるように前準備をしたり話題を提供したりして、子どもたちが満足感を持って取り組めるよう支援しています。
- ◇ 散歩や公園に積極的に出かけ、縄跳び・鉄棒・かけっこ・ごっこ遊び・たこ揚げ・滑り台・ブランコなどを通して健康づくりを心がけています。
- ◇ 散歩の途中で出会った人と笑顔であいさつを交わし、公園に来ている親子連れと会話をしたり、一緒に遊んだりして交流しています。
- ◇ 給食は、栄養士・看護師・保育士による給食会議で情報を交換して、子どもたちがおいしく食べきる給食を目指しています。

### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 保育計画は、保護者の就労状況にも配慮し、保護者ができるだけ行事に参加できるように考慮して作成されています。
- ◇ 保育士は理解できる子どもにはきちんと説明をし、納得することを大切に保育を心がけています。
- ◇ 保育士は、子ども一人ひとりとのスキンシップを大切に、子どもとの会話や遊びの中から子どもの思いを汲み取って指導計画に反映させています。
- ◇ 入園説明会では児童調査票等を配布し、保護者に記入してもらい、子どもの生育歴や家庭での状況を事前に把握しています。
- ◇ 指導計画の作成・評価・見直しは、子どもの発達や状況に応じて行っています。また、評価・改定には、クラス会議、リーダー会議、職員会議、給食会議等で職員同士が意見を出し合い、反映するようにしています。
- ◇ 0歳児から5歳児まで全員の個別指導計画が作成されています。また、個別指導計画は、クラス担任が一人ひとりの子どもの成長や発達について話し合っ作成しています。また見直しも、保育士同士の話し合いを通して柔軟に行っています。また、子ども一人ひとりの記録担当保育士が決まっています。
- ◇ 毎月1回、臨床心理士が来園し、保護者を対象として子育てや障がい等の相談にあたっています。
- ◇ 食物アレルギーがある場合には、保護者に献立を事前にチェックしてもらうなどの連携を取りながら、除去食や代替食を提供しています。アレルギー食はトレーを別にし、名前をつけて準備し、配膳担当者も決めて対応しています。
- ◇ 第三者委員の名前・電話番号や苦情解決システムの表を玄関ホールに掲示し、玄関の事務室の前にすまいるBOX（意見箱）を設置しています。

- ◇過去の苦情やトラブル、要望については、本部で収集・整理して各園に戻し、解決に活かしています。
- ◇保育士は子どもたちに笑顔と適切な言葉遣いで接しています。必要なことはきちんと説明をして、子どもたちもそれをよく聞いています。
- ◇常勤の看護師は、専門知識を活かして、手洗い・歯磨き指導、感染症対策について適切な指導を行っています。
- ◇各種マニュアル類が整備されています。健康管理に関するマニュアルがあり看護師を中心に職員が連携して、子どもたちの健康状態の把握に努めています。衛生管理マニュアルは本部作成のものを基本にして、「手洗い」「ノロウイルス」「嘔吐処理」「清掃」など園独自に作成しています。また、マニュアルは毎年見直しをしています。安全管理に関するマニュアルがあり職員は理解して実践しています。例えば公園遊びの折にも、その場所の安全チェックをしてから遊ばせるなど、日頃から事故防止に努めています。

#### 4、地域との交流・連携

- ◇区の園長会などで、地域の子育て支援ニーズについて情報交換をしています。また、近くの公立保育園や系列保育園との間で、定期的に交流保育をしています。運動会には、未就園児や小学生の出場種目を作り、交流しています。
- ◇地域の子育て支援ニーズを職員で話し合ったり、講習会や研修会を開催したりすることは、これまではありません。園長の見識や保育士、看護師、栄養士などの専門性を生かした地域に向けての支援の実践が望まれます。
- ◇園の外の掲示板で、行事の案内や育児相談を随時行っていることを知らせていますが、町内会などを通して回覧するなどの情報提供はしていません。
- ◇事務室には、医療機関・地域療育センター・区福祉保健センターなどの連絡先が掲示され、職員は周知して、日常保育の上で良好な関係が作られています。
- ◇運動会、お餅つき会、お別れコンサートなどに、近くのケアハウスの高齢者や、公立園や系列園の園児を招待して、交流を図っています。また、中学校の職業体験実習を受け入れたりして交流しています。

#### 5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇組織や職員が守るべき法・規範・倫理が明文化されています。特に新人は新任研修で保育倫理綱領についての研修を受けています。
- ◇「20年度にじいろ保育園事業計画書」の中には環境への考え方や取り組みが明文化されています。また、保育室のゴミ箱には燃えるゴミ・燃えないゴミと記載し、子どもたちもゴミの分別を実行しています。
- ◇保育理念・基本方針は、明文化し玄関ホール等に掲示しています。また、保育ガイドの最初のページに保育理念・基本方針を掲載して新任研修時に学ぶとともに、現任研修でも再確認するなどして理解を深めるようにしています。職員には保育理念や基本方針をコピーして渡し、職員会議等でも話しあって理解を深めるようにしています。
- ◇事業運営に関わる情報は、主として本部が収集・分析し、速やかに各園へ配信しています。また、重要な情報は、実務者連絡会や担当者会議などの上部会議で議論され、その結果は園長会議で報告されます。園長が園に持ち帰り、職員会議等で職員に周知し、園全体の取り組みとしています。

#### 6、職員の資質向上の促進

- ◇職員はスキルアップシートに保育の評価・課題・次年度の希望・目標などを記載して提出しています。それをもとに園長は職員と面談を行い達成度や課題を明確にして、次年度の人材育成に活かしています。
- ◇職員会議やクラス会議、リーダー会議等でサービスについて話し合い、見直しをし、個々のスキルの問題ととらえて自己評価を行うようにしています。
- ◇本部の研修や系列園との交流の中で得た良い事例をもとに、さらに工夫して日常の保育に取り組むべく職員間で話し合っています。また、外部から来園するお話の会の講師や、臨床心理士からも職員は指導を受けています。
- ◇ボランティア受け入れのマニュアルはあり、担当者も園長・主任と決まっていますが、今までに受け入れの実績はありません。
- ◇実習生を受け入れています。受け入れにあたってはオリエンテーションを行い、園の方針や実習に当たる心構えを伝えています。担当を決め、効果的な実習が行われるようプログラムを工夫し、実習期間中は毎日クラス担任と振り返りをします。最終日には、園長、主任との反省会を設定しています。

## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。




「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育の理念は「みんなが輝く 社会のために」とし、「陽だまりのような温かい保育園」「地域と共に育つ保育園」「子どもと共に輝いていける保育園」の3つをあげています。</li> <li>・ 保育目標は「みとめ愛(信頼)・みつめ愛(安定)・ひびき愛(共感)」として、自然を愛し、心身ともに健康な体 意欲と根気のある子ども 仲間と関わり、人を思いやれる子ども 自己を表現できる子ども 想像し考えて行動する子ども 基本的習慣を身につけ、健康で元気に遊ぶ子ども を掲げ利用者本人を尊重したものとなっています。</li> <li>・ 保育の理念は明文化され、法人で行う新任研修や、その後のスキルアップ研修、園長会議、主任会議等を通して全職員が基本方針を理解し、実践しています。</li> <li>・ 保育理念・基本方針は、保育園の玄関や保育室、休憩室等にも掲示されています。</li> <li>・ 保育計画は、保護者の就労状況に配慮し、保護者ができるだけ行事に参加できるように考慮して作成しています。また、地域にある高齢者施設や保育所等との交流を取り入れるなどの工夫もしています。</li> <li>・ 保育士は、理解できる子どもにはきちんと説明をし、納得できることを大切にされた保育を心がけています。</li> <li>・ 保育士は、子ども一人ひとりとのスキンシップを大切にし、子どもとの会話や遊びの中から子どもの思いを汲み取って指導計画に反映させています。</li> </ul>



- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- ・ 入園前に保護者や子どもに面接しています。
- ・ 入園説明会では児童調査票等を配布し、保護者に記入してもらい、子どもの生育歴や家庭での状況を事前に把握しています。
- ・ 保護者と相談しながら、ならし保育を実施していますが、就労の都合でならし保育を導入する余裕がない場合は、そのまま平常保育で受け入れる場合もあります。
- ・ 0、1歳児の新入園児に対しては、個別に主保育担当者を決めています。おしゃぶりやタオル等、子どもが親しんでいるものの持込が必要な場合は受け入れて、子どもの心の安定に沿うように図っています。
- ・ 在園児については、2月頃から進級への期待感を育み、新入園児に対する心の準備を持たせるようにしています。また、新入園児のいるクラスには職員の配置を厚くするなどの配慮をしています。
- ・ 指導計画の作成・評価・見直しは、子どもの発達や状況に応じて行っています。また、評価・改定には、クラス会議、リーダー会議、職員会議、給食会議等で職員同士が意見を出し合い、反映するようにしています。

- 3 快適な施設環境の確保



- ・ 園舎は内外ともに清潔に保たれており、子どもたちが散歩に出かけた後は、窓を開けて風を取り入れ、換気にも留意しています。
- ・ 保育室には空気清浄機や加湿器が置かれ、室温や湿度の管理が適切に行われています。
- ・ 沐浴設備や温水シャワーの設備があり、管理や清掃は、マニュアルに則って清掃し、清潔に保っています。
- ・ 園舎はオープンな造りですが、保育室は年齢ごとに分かれていて、柵やパーテーションを利用して、それぞれの年齢に応じた保育が行われるように工夫しています。また、食べる・寝るなどの機能別空間を上手に作り出し、子どもたちが安心できる居場所作りを心がけています。
- ・ 子どもたちは、日常的に異年齢児同士が交流しながら生活をしています。また玄関ホールにある図書コーナーは異年齢児同士の交流の場となっています。

- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力



- ・ 0歳児から5歳児まで全員の個別指導計画が作成されています。
- ・ 個別指導計画は、クラス担任が一人ひとりの子どもの成長や発達について話し合って作成しています。また見直しも、保育士同士の話し合いを通して柔軟に行っています。また、子ども一人ひとりの記録担当保育士が決まっています。
- ・ 子どもや家庭の個々の状況は、調査表や児童票等に記載しファイリングしています。また、入園後の子どもの身長や体重等の成長発達の記録があります。職員はいつでも必要な場合には見ることができ、全職員が記録内容を共有できるようになっています。



## - 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・ 特に配慮を要する子どもを受け入れています。対応については、クラス会議やリーダー会議、職員会議等で話し合い、記録をとり、職員間で周知しています。
- ・ 最新の情報は、本部や研修会等で収集し、看護師・保育士・栄養士と一緒に学習し合い保育に活かしています。
- ・ 園舎はバリアフリーになっています。
- ・ 保護者の了解の下、地域療育センターや区福祉保健センター、保健師等と連携を取る体制があります。また、障がいについて職員は研修等で学び、職員会議で報告・周知し、知識を深め合っています。
- ・ 障がいの特性を考慮して個別指導計画を立てています。
- ・ 毎月1回、臨床心理士が来園し、保護者を対象として子育てや障がい等の相談を受けています。
- ・ アレルギーがある場合には、かかりつけ医からアレルギーについての意見書を提出してもらい、定期的アレルギーチェックを実施してもらうようにしています。
- ・ 職員は、アレルギーについて、新任研修や現任研修で学習しています。常勤の看護師がさらに職員会議等で知識や情報を伝えるようにしています。
- ・ 食物アレルギーがある場合には、保護者に献立を事前にチェックしてもらうなどの連携を取りながら、除去食や代替食を提供しています。また、看護師・栄養士・保育士は職員会議でアレルギーについて報告し、全職員に周知するようにしています。情報資料は各クラス、給食室、休憩室に掲示しています。
- ・ アレルギー食はトレーを別にし、名前をつけて準備し、配膳担当者も決めて対応しています。
- ・ 文化や生活習慣の異なる子どもに対しては、違いを互いに認めて対応するようにしています。文化や生活習慣の違いなどについて、北京オリンピックをきっかけとして、子どもたちが理解できるように取り組みました。


## - 6 苦情解決体制



- ・ 第三者委員の名前や、苦情解決システムの一覧表を玄関ホールに掲示するとともに、玄関の事務室の前に「すまいるBOX（意見箱）」を設置しています。
- ・ 懇談会では、保護者が要望や苦情を言いやすい雰囲気を作って聞くようにしたり、朝夕の送迎時に、できるだけ保護者へ声をかけるようにしたりして、意見等を汲み上げるように心がけています。
- ・ 第三者委員を交えて対応する仕組みがあります。
- ・ 園単独で解決が困難な場合は、本部に報告・相談するとともに、区福祉保健センター、児童相談所、地域療育センター等とも連携する体制があります。
- ・ 系列園で出た苦情や問題については、法人の園長会議で検討し情報の共有化を図るとともに、その結果は各園に持ち帰り、職員会議等で全職員に周知するようにしています。

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 過去の苦情やトラブル・要望については、本部で収集・整理して各園に戻し、解決に活かしています。</li></ul> |
|--|--|

## 評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="161 344 472 383">- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="624 259 1474 421">・ おもちゃや絵本は、吟味して選んだ良質のものが自由に取り出しやすい棚などに揃えられています。子どもたちは、畳やマットやテーブル・椅子などで仕切られたコーナーで好きな遊びを十分楽しんでいます。</li> <li data-bbox="624 439 1474 555">・ 保育士は、研修で「遊びの研究」に取り組んだり、子どもの発達に合ったりサイクルおもちゃを作ったり、継続的によりよい環境構成に努めています。</li> <li data-bbox="624 573 1474 689">・ 天気のよい日の散歩や公園遊びでは、子どもたちの自由な発想を大切にして、柔軟に対応しています。一斉活動では、みんなで遊ぶ楽しさと、ルールを守る社会性を学んでいます。</li> <li data-bbox="624 707 1474 869">・ 季節ごとに花や野菜を育てて、継続観察をしたり、収穫して食べたりしています。メダカを飼ったり、昆虫の飼育をして絵を描いたりもしています。散歩を多く取り入れ草花や樹木など自然にふれたり、会う人にあいさつをしたりしています。</li> <li data-bbox="624 887 1474 1048">・ 保育士も子どもたちもよく歌を歌い、手遊びやリズム遊びをしています。3、4、5歳児は毎朝「うたおう会」があり、保育士の指導の下、のびのびと歌を歌っています。乳児も交替で見学をして、幼児クラスに憧れの目を向けています。</li> <li data-bbox="624 1066 1474 1137">・ 一斉活動のほかにも、子どもたちが、絵や工作、編み物などを楽しんだり、ことば集めや興味のあることを調べたりしています。</li> <li data-bbox="624 1155 1474 1272">・ 子どもたちは異年齢児と一緒に活動したり、年上の子どもが乳児の世話をしたりする機会も多く、自然に思いやりの気持ちが育っています。また、もめごとを解決する力もついています。</li> <li data-bbox="624 1290 1474 1451">・ 保育士は子どもたちに笑顔と適切な言葉遣いで接しています。必要なことはきちんと説明をして、子どもたちもそれをよく聞いています。抱っこしてほしいというような子どもの願いもよく受け止めています。</li> <li data-bbox="624 1469 1474 1668">・ 散歩や公園遊びで子どもたちは十分体を動かしています。夏には簡易プールを設置して水遊びをしたり、近くの公立園の大きなプールを借りたりしています。戸外では、紫外線よけの帽子をかぶります。また、動物や植物のアレルギーがある子どもには、アレルゲンに近づけないなどの配慮をしています。</li> </ul>

- 1 保育内容[生活]



- ・ 完全自園給食を実施し、毎月、栄養士・看護師・保育士による給食会議で情報を交換しています。子どもたちがおいしく食べきる給食をめざして、毎日ほぼ完食しています。
- ・ 乳児には、一人ひとりのペースに合わせ、抱っこしてやさしく声かけをしながら授乳をしています。離乳食も4段階に分けて、子どもに合わせたものを提供しています。
- ・ 幼児を中心として、子どもたちは保育士と配膳や片付けをしたり、豚汁やつくしの炒め煮などを作って食べるクッキングに取り組んだりして、食への関心を育てています。
- ・ 毎月給食だよりや献立表を保護者に配布し、新メニューなどのレシピも知らせています。地元の商店から旬の食材を購入し、行事食も工夫しています。
- ・ 午睡の際は、カーテンを引き薄暗くして、眠りにつくまで保育士が傍で見守るなど環境を整えています。乳児はSIDS(乳幼児突然死症候群)防止のためうつぶせ寝をさせず、10分間隔で呼吸チェックをして記録しています。5歳児は、秋以降徐々に午睡をしない日を設け就学に備えています。
- ・ トイレトレーニングは、保護者と話し合い、連携して無理なく進められるように、個別に対応しています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]





- ・ 健康管理に関するマニュアルは整備され、看護師を中心に職員が連携して、子どもたちの健康状態の把握に努めています。
- ・ 連絡帳や送迎時の会話や、看護師の出す月1回の保健だよりなどで、子どもの健康状態や健康についての情報を、保護者に細やかに伝えています。
- ・ 「歯磨きは一生の習慣をこの時期に作る」と捉えて大切にしています。子どもの発達に合わせて歯ブラシを持たせ、保育士が仕上げ磨きをしています。看護師は毎月8のつく日を「歯の日」として、歯磨き指導を行っています。保育室には手作りのライオンやワニなどの歯磨き人形があり、子どもたちは楽しく歯磨きの習慣づくりをしています。
- ・ 健康診断の結果を保護者に伝えるだけでなく、健診前に保護者から不安なことを聞き、健診後に報告するなど連絡を密にしています。嘱託医は地元の医師で、0、1歳児は毎月、健診を受けています。
- ・ 感染症などへの対応に関するマニュアルは整備されていて、必要な情報は速やかに保護者に伝えられています。
- ・ 看護師を中心に感染症の予防や、発症したときの対応、地域の情報等を集め、毎朝の朝礼などで職員に周知しています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



- ・ 衛生管理マニュアルは本部作成のものを基本として、さらに「手洗い」「ノロウイルス」「嘔吐処理」「清掃」などの項目について園独自のマニュアルを作り、毎年見直しをしています。
- ・ マニュアルの実践化について話し合い、例えば「手洗い」については、看護師と保育士が協力して、子どもたちが見やすい歌入りの掲示物を作成し、子どもたちは楽しそうに歌いながら、しっか

	<p>り手洗いをしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園内は清潔できれいです。「清掃チェック表」や「トイレ清掃チェックシート」により、毎日点検しています。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全管理に関するマニュアルがあり、職員に周知しています。保育士は公園遊びの折にも、その場所の安全チェックをしてから遊ばせるなど、日頃から事故防止に努めています。</li> <li>・ 毎月、火事・地震・不審者侵入などに備えて防災訓練を実施しています。救急救命法の研修には積極的に参加し、職員が共有しています。</li> <li>・ 部屋の中の棚や家具は、耐震設計で安定感のある木製のものを使用していますが、一部の家具・電子ピアノなどの転倒防止策が不十分です。</li> <li>・ 子どものケガについては、軽傷であっても伝達事項確認表に記入して職員が共有し、保護者に伝えるようにしています。</li> <li>・ 職員会議などで、職員が記入したヒヤリハット報告書をもとに、事故防止対策を話し合っています。系列園のヒヤリハット報告書も回覧し、同種の事故を未然に防ぐようにしています。</li> <li>・ 玄関はオートロックにしている、来園者を確認してから開錠しています。</li> <li>・ 警備会社につながる警報機防災ブザーを用意し、不審者などに対する通報の用意ができています。区内の不審者については警察から情報が入る仕組みになっています。</li> </ul>
<p>- 3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員はおだやかで分かりやすい言葉を使い、一人ひとりの子どもの気持ちを受け止めています。子どもたちは呼び捨てにされたり、罰を与えられたりすることはなく、自尊心を大切にされています。</li> <li>・ 保育室の中にロッカーなどを利用してコーナー等が作られていて、子どもたちは他の友だちの目を気にせず過ごすことができ、保育士はそれとなく見守っています。</li> <li>・ 保護者の承諾のもとにウェブカメラが保育室に設置されていますが、着替えやオムツ交換はその視角に入らず、人目も避けられるところでしています。</li> <li>・ 守秘義務の意義や目的を全職員に周知し、実習生などにも説明しています。個人情報に関する記録は、事務所の施錠できるロッカーに保管し、持ち出しは禁止し、園長の許可の下に園内で取り扱っています。</li> <li>・ 虐待の定義が全職員に周知され、研修を受け職員で共有しています。虐待が明白になったときの、連絡支援体制はできています。</li> <li>・ 気になる子どもがいるときは、園長・主任・看護師に伝え見守るとともに、月1回、相談会に来園している臨床心理士に相談することもあります。</li> <li>・ 遊び・持ち物・服装・グループ分け・整列など性別では分けていません。父親・母親の役割を固定的に捉えることもしていません。</li> </ul>



#### - 4 保護者との交流・連携






- ・ 園の理念や基本方針を玄関ホール等に掲示するとともに、懇談会や保護者参加の行事などで説明したり、子どもの姿を通して伝えたりしています。懇談会などの欠席者にも、大切なことは文書で知らせています。
- ・ 毎月、園だよりやクラスだよりを発行しています。また、毎日、その日の様子をクラス掲示板に書き、保護者が読みやすいことを念頭におき、情報を提供しています。連絡帳も全クラスにあり、きめ細かく記入しています。
- ・ 保護者の意向をふまえて個別面談を実施するとともに、月2回保育参加の日を設け、子どもの誕生月の保護者が参加し、好評を得ています。
- ・ 保護者からの相談には、時間帯や場所に配慮し、落ち着いて話を聞くようにしています。相談は複数の職員で対応することを原則とし、担任や主任・園長、月1回来園する臨床心理士からも助言を受けることができます。
- ・ ウェブカメラを設置し、保護者の承諾の下に、保護者の可能な時間帯に子どもの園での様子を見ることができるようになっています。
- ・ 保護者会があり、園との間に良好な協力関係が作られています。






## 評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区の園長会などで、地域の子育て支援ニーズについての情報交換をしたり、医師会との勉強会に園長が参加したりしています。</li> <li>・ 近くの公立保育園や系列保育園との間で、定期的に交流保育をしています。運動会には、未就園児や小学生の出場種目を作り、交流しています。</li> <li>・ 園舎は商業ビルの1階にあり、これまでは地域の子育て支援ニーズを把握しにくい状況にありましたが、すぐ向かいに新築マンションが建設され、その中には区の子育て支援拠点の開設予定もあり、今後の連携や取り組みが期待されます。</li> <li>・ 地域の子育て支援ニーズを職員で話し合ったり、講習会や研修会を開催したりすることは、これまではありません。園長の見識や保育士・看護師・栄養士などの専門性を生かした、地域に向けての支援の実践が望まれます。</li> </ul>
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園の外の掲示板で、行事の案内や育児相談を随時行っていることを知らせていますが、町内会などを通して回覧するなどの情報提供はしていません。</li> <li>・ 事務室に医療機関、地域療育センター、区福祉保健センターなどの連絡先が掲示され、職員が周知していて、良好な関係が作られています。</li> <li>・ 関係機関との連携の担当・責任者は園長です。</li> </ul>




## 評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動会、お餅つき会、お別れコンサートなどに、近くのケアハウスの高齢者や、公立園や系列園の園児を招待して、交流を図っています。</li> <li>・ 中学校の職業体験実習を受け入れたり、近くの小学校を5歳児が訪問したりして交流しています。</li> <li>・ 地域への施設開放や備品の貸し出しは、これまでに要請がないのでしていません。</li> <li>・ 散歩マップを作り、散歩や公園遊びを目的に応じて十分楽しんでいます。散歩の途中、消防署を訪問したり、行き交う人とあいさつや会話をしたりしています。公園に来た親子と一緒に遊ぶこともあります。</li> <li>・ クッキングや行事などで、子どもたちが八百屋やスーパーマーケットに買い物体験に行き、店の人と交流しています。</li> <li>・ 近くの公立保育園に夏は週1回プールを借りたり、ケアハウスにも招待されて、高齢者とのふれあいを楽しんだり、交流の中で子どもの生活の充実が図られています。</li> </ul>
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区役所にパンフレットを置き、横浜市子ども青少年局や戸塚区のホームページなどに情報を提供しています。また、子育て支援NPOが発行している「保育園特集」の冊子に、情報が掲載されています。</li> <li>・ 独自のホームページを開設し、誰でも見ることができます。問い合わせには、主任または園長ができるだけ分かりやすく答えています。希望者には見学可能な日を知らせています。</li> <li>・ 見学の問い合わせには、できる限り希望にそうようにしています。突然の見学希望にも保育に支障をきたさなければ受け入れています。</li> </ul>
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティアの受け入れについて、マニュアルがあり、担当者は園長・主任と決めています。希望があればいつでも受け入れる体制がありますが、これまでに希望者がなく、受け入れの実績はありません。</li> <li>・ 実習生の受け入れにあたっては、マニュアルに基づきオリエンテーションを行い、園の方針や実習に当たる心構えを伝えていきます。担当者を決め、効果的な実習が行われるようプログラムを工夫し、実習期間は毎日クラス担任と振り返りを行っています。最終日には、園長、主任との反省会を設定しています。</li> </ul>

## 評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人材の補充は、本部と連絡を取り合いスムーズに補充できるようにしています。</li> <li>・ 人材育成計画があり、本部で行う新任研修や現任研修を通して、園の理念や方針を明確にし、人材育成を図っています。</li> <li>・ 職員は一人ひとり、スキルアップシートに保育の評価・課題・次年度の希望・目標などを記載して提出しています。それをもとに園長は職員との面談を行い、達成度や課題について明確にして、次年度の人材育成に活かしています。</li> <li>・ 主任が研修計画を担当しています。職員から本部や外部の研修へ参加の希望があれば、勤務シフトの調整を行って、できるだけ応えられるようにしています。</li> <li>・ 内部研修は非常勤職員にも声をかけ、参加できるように配慮しています。</li> <li>・ 非常勤職員は、入職時に新任研修を受けています。また、休憩室に業務マニュアルを整備し、できるだけ目を通すように指導しています。</li> <li>・ 非常勤職員は、職員会議や、園の行事等に参加しています。</li> </ul>
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラス会議やリーダー会議、職員会議等でサービスについて話し合い、見直しをし、個々のスキルの問題ととらえて自己評価を行うようにしています。</li> <li>・ 本部の研修や系列園との交流の中で得た良い事例をもとに、さらに工夫して日常の保育に取り組むように話し合っています。</li> <li>・ 職員は、外部から来園するお話の会の講師や、臨床心理士から指導を受けています。</li> </ul>
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経験・能力や習熟度に応じた役割が、期待水準として明文化されていません。</li> <li>・ 現場の職員にできるだけ権限を委譲し、それぞれの職員が責任を持って取り組むようにしています。最終責任は、園長にあるとしています。</li> <li>・ 職員の意向調査を実施し、職員の意見や新年度の希望を聞いたり、業務改善の提案を受けたりしています。</li> <li>・ 職員満足度調査を行い、職員の働きやすい環境作りに反映させたり、職員の向上心や考え方を把握してキャリアアップに繋がるように心がけています。</li> </ul>

## 評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織や職員が守るべき法・規範・倫理が明文化されています。特に新人は新任研修で保育倫理綱領について研修を受けています。</li> <li>・ 他施設での不正や不適切な事案は、本部で収集し速やかに各系列園に報告され、職員は周知しています。</li> <li>・ 「20年度にじいる保育園事業計画書」の中に環境への考え方や取り組みを明文化しています。</li> <li>・ 保育室のゴミ箱には、燃えるゴミ・燃えないゴミと記載して、子どもたちも職員もゴミの分別を実行しています。</li> <li>・ 使っていない部屋の電気はできるだけ消し、帰るときには電気のコンセントを抜くように指導するなど省エネルギーの促進に取り組んでいます。</li> </ul>
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育理念・基本方針は、明文化し玄関ホールや保育室等に掲示しています。</li> <li>・ 保育ガイド（業務マニュアル）の最初のページに、保育理念・基本方針を掲載して新任研修時に学ぶとともに、現任研修でも再確認するなどして理解を深めるようにしています。</li> <li>・ 職員には保育理念や基本方針のコピーを渡し、職員会議等でも話しあって理解を深めるようにしています。</li> <li>・ 重要な変更等が起こったときには、職員間で十分に話しあって理解した上で、保護者へ園だより、掲示物でお知らせを出し、目的や変更理由、経過等を説明して理解を得るようにしています。重要な変更としては、業者委託から自前の給食に変更になったことがあげられますが、その時には保護者の意見も参考にしていきました。</li> <li>・ 主任は、保育士の能力や経験にあわせた助言や指導を行っています。職員の仕事や個人的な悩みの相談にもいつでも応じる姿勢でいるので、職員の信頼を得ています。</li> <li>・ 主任は、常に園長と連携を取りながら、職員が精神的・肉体的に良好な状態で仕事ができるように、温かい家庭的な雰囲気職場づくりを心がけて取り組んでいます。</li> </ul>
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業運営に関わる情報は、主として本部が収集・分析し速やかに各園へ配信するしくみがあります。</li> <li>・ 重要な情報は、実務者連絡会や担当者会議などの上部会議で議論され、その結果は園長会議で報告されています。</li> <li>・ 運営面での重要な改善事項については、職員に周知し、園全体の取り組みとしています。</li> <li>・ 本部では、保育園経営の中長期的な事業の方向性を定めた計画を策定しています。また、本部では、次代の組織運営に備え、運営やサービスプロセスの新たなしくみ作りについても常に検討しています。</li> <li>・ 事業運営に関しては、金融機関や提携企業などの外部の専門家の意見や助言を、取り入れるようにしています。</li> </ul>

## 利用者家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2008年12月1日～12月14日
- 2、実施方法 事業者から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。  
各保護者より、同封の返送用封筒にて、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 85.0%（60枚配付、51枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...5人、 1歳児クラス...11人、 2歳児クラス...9人、  
3歳児クラス...10人、 4歳児クラス...10人、 5歳児クラス...6人  
ただし同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

### 設問ごとの特徴

#### 【問1】保育園の基本理念や基本方針について

保育目標・保育方針を「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者は約86%です。さらに、「知っている」と答えた保護者の約98%が賛同できると答えています。

#### 【問2】入園時の状況について

「入園時に子どもの様子や生育歴を聞く対応」「保育園での過ごし方についての説明」「費用やきまりについての説明」は、いずれも90%以上の保護者が満足と答えています。

「見学の受け入れ」「入園前の園からの情報提供」については、“開園前なので見学は無かった”など、「その他」回答がやや多くなっています。

\*「満足」は、「満足」と「どちらかといえば満足」の回答を合わせた数値（以下同様）

#### 【問3】年間の計画について

「年間の保育や行事についての説明」「保育や行事について保護者の要望が活かされているか」については、80%以上が満足と答えているものの自由記入には、“年度当初に年間計画を頂いてはいるが、仕事の都合もあるので各行事などが近づいた時、もう少し早めに詳細を知らせてほしい。”というような意見が複数ありました。

#### 【問4】日常の保育内容「遊び」「生活」について

「遊び」については、全ての項目で満足度が90%以上となっています。特に「クラスの活動や遊び」は、100%、「遊びを通じての友達や保育者との関わり」は約96%の高い満足度です。“園庭が狭いデメリットをメリットに変えるかのように町中の公園に連れ出してもらって遊び、体力や積極性がついた”という意見もあります。

「生活」では、「給食の献立内容」「給食を楽しんでいるか」「基本的な生活習慣への取り組み」「体調への気配り」は98%、「昼寝や休憩」「体調への気配り」は96%の高い満足度となっています。

#### 【問5】快適さや安全対策などについて

「感染症発生の情報提供」については98%、「子どもが落ち着いて過ごせる雰囲気」については約94%と高い満足度となっています。

「施設設備」については、不満が約26%あります。自由記入欄には“園庭が狭い”“トイレが少ない”“保育室が狭い”などの意見が見受けられました。

\*「不満」は「不満」と「どちらかといえば不満」の回答を合わせた数値

**【問6】園と保護者との連携・交流について**

全ての項目で満足度が90%以上となっています。特に「子どもの重要な情報の連絡」については100%の高い満足度です。

**【問7】職員の対応について**

「子どもが大切にされているか」「子どもが保育園生活を楽しんでいるか」については100%、「職員は話しやすい雰囲気・態度であるか」「意見や要望への対応」については90%以上と、高い満足度になっています。“子ども一人ひとりをよく見てくれる”“園長先生の考えや対応が信頼できる”“職員が自信を持って自らの工夫で保育を楽しみながら行っている姿に好感が持てる”看護師がいるので安心できる”などの意見が多数ありました。

**【問8】保育園を総合的に評価すると**

約98%という高い満足度となっています。

**【問9】園への要望など**

ほとんどが園の対応に対する感謝の言葉です。中には、英語や体操・楽器・勉強系のことなど色々なことにふれる機会を増やしてもいいのでは、といった要望も見受けられました。

**まとめ**

利用者家族アンケートの回収率が85%ということからも、保護者が園に寄せる関心の高さがうかがわれます。

その結果についても、保護者が園に満足していることがよく分かります。「園庭が狭い」ことに代表される「施設設備」について、アンケートの中では一番満足度が低かったのですが、散歩や公園遊びを多く取り入れている園の努力は、よく理解されているようです。各種のお便り、連絡帳、送迎時の会話や保育参加を通して、また、何よりも園が大好きな子どもの姿を通して、保護者は安心して子どもを託しているようです。



## 利用者（園児）家族アンケート集計結果

実施期間：2008年 12月1日～12月14日

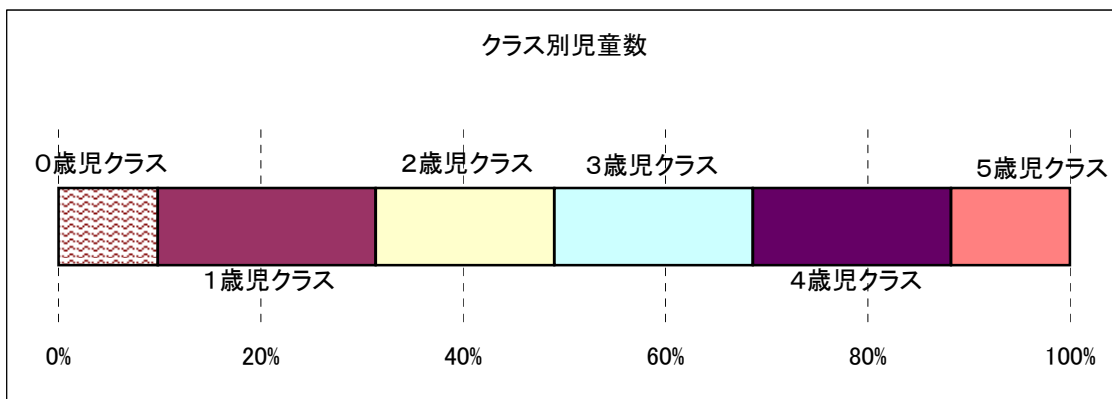
回収率：85.0% （回収51枚／配布60枚）

### 【属性】

クラス別児童数 (人)

合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
51	5	11	9	10	10	6	0

※同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入



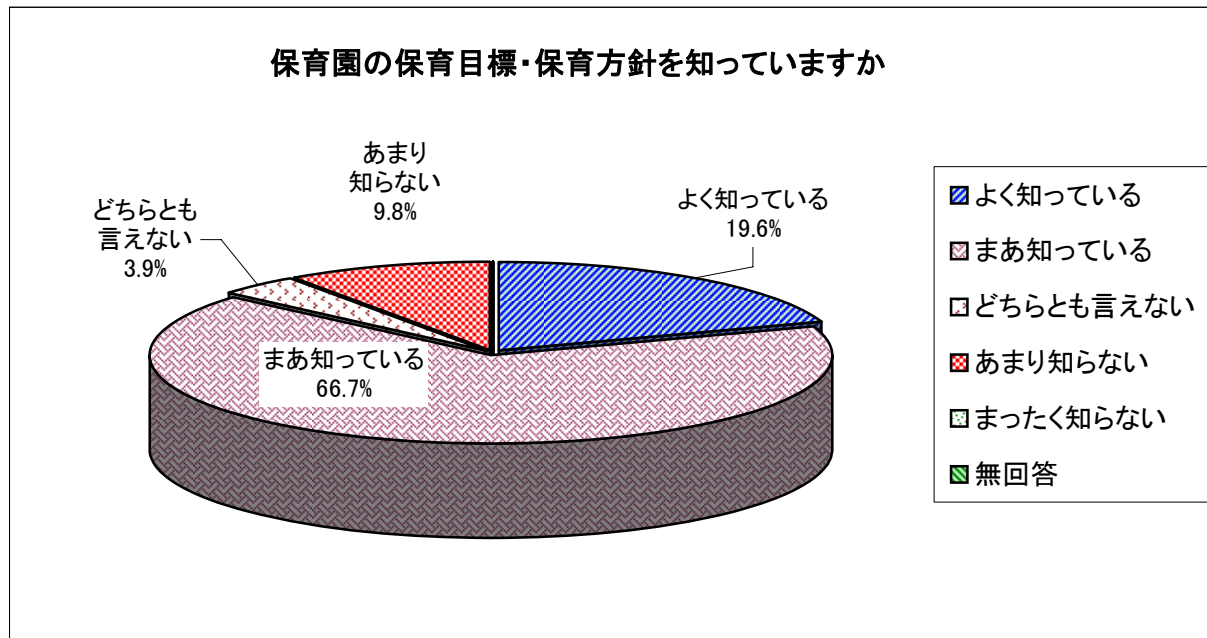
## ■ 保育園の基本理念や基本方針について

### 問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	19.6	66.7	3.9	9.8	0.0	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

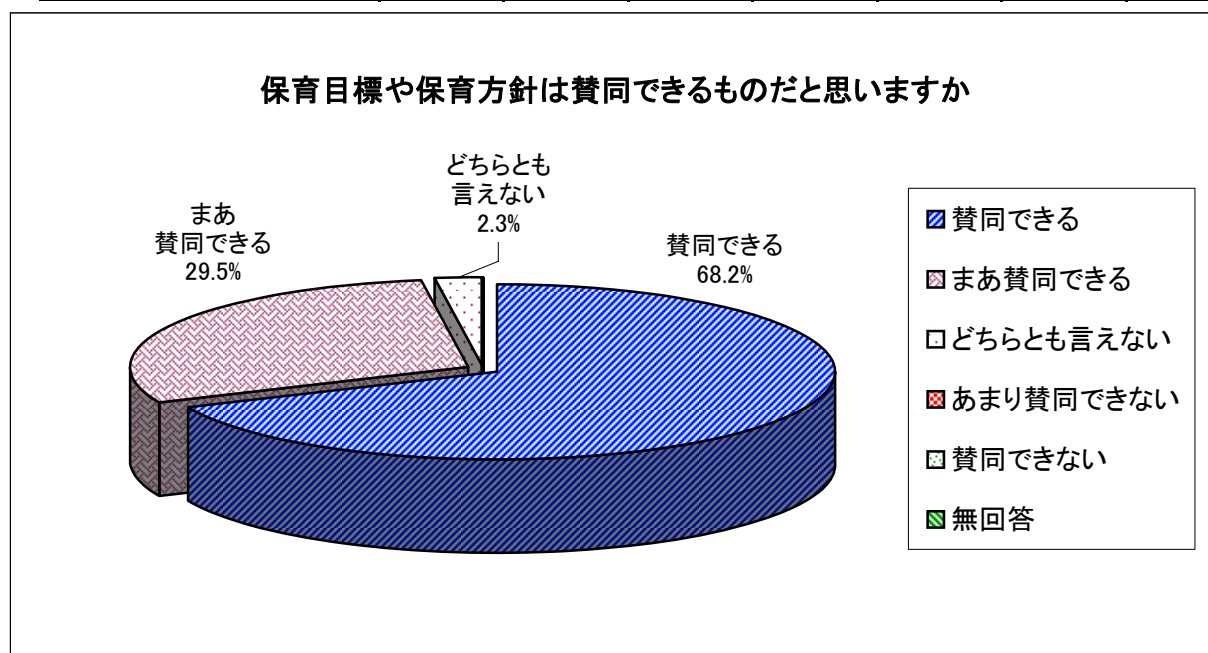


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

### 付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	68.2	29.5	2.3	0.0	0.0	0.0	100



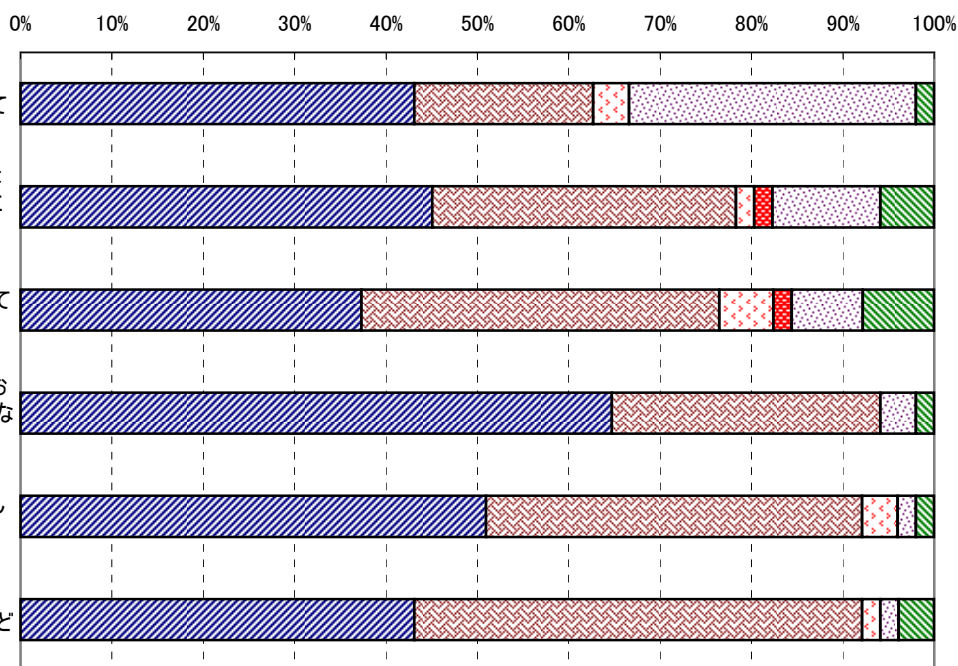
■ 保育園のサービス内容について  
問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	43.1	19.6	3.9	0.0	31.4	2.0	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	45.1	33.3	2.0	2.0	11.8	5.9	100
園の目標や方針についての説明には	37.3	39.2	5.9	2.0	7.8	7.8	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	64.7	29.4	0.0	0.0	3.9	2.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	51.0	41.2	3.9	0.0	2.0	2.0	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	43.1	49.0	2.0	0.0	2.0	3.9	100

入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



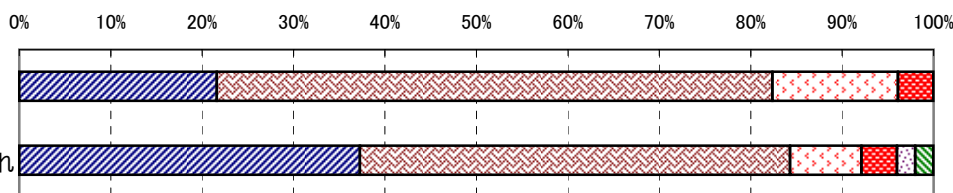
問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	21.6	60.8	13.7	3.9	0.0	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	37.3	47.1	7.8	3.9	2.0	2.0	100

年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



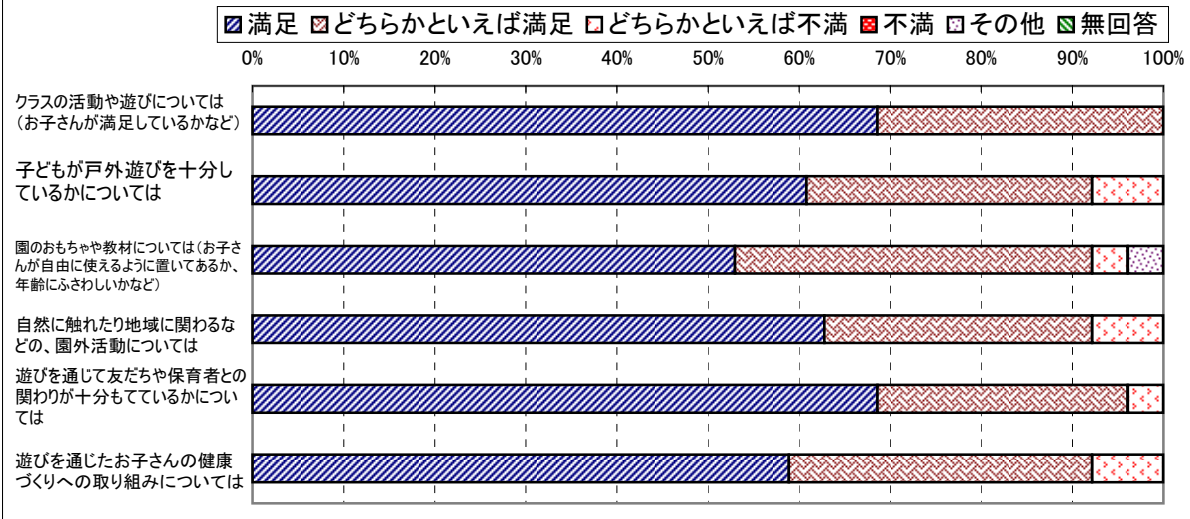
## 問4 日常の保育内容について

(%)

### ●「遊び」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お父さんが満足しているかなど)	68.6	31.4	0.0	0.0	0.0	0.0	100
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	60.8	31.4	7.8	0.0	0.0	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お父さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	52.9	39.2	3.9	0.0	3.9	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	62.7	29.4	7.8	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	68.6	27.5	3.9	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じたお父さんの健康づくりへの取り組みについては	58.8	33.3	7.8	0.0	0.0	0.0	100

### 日常の保育内容「遊び」について

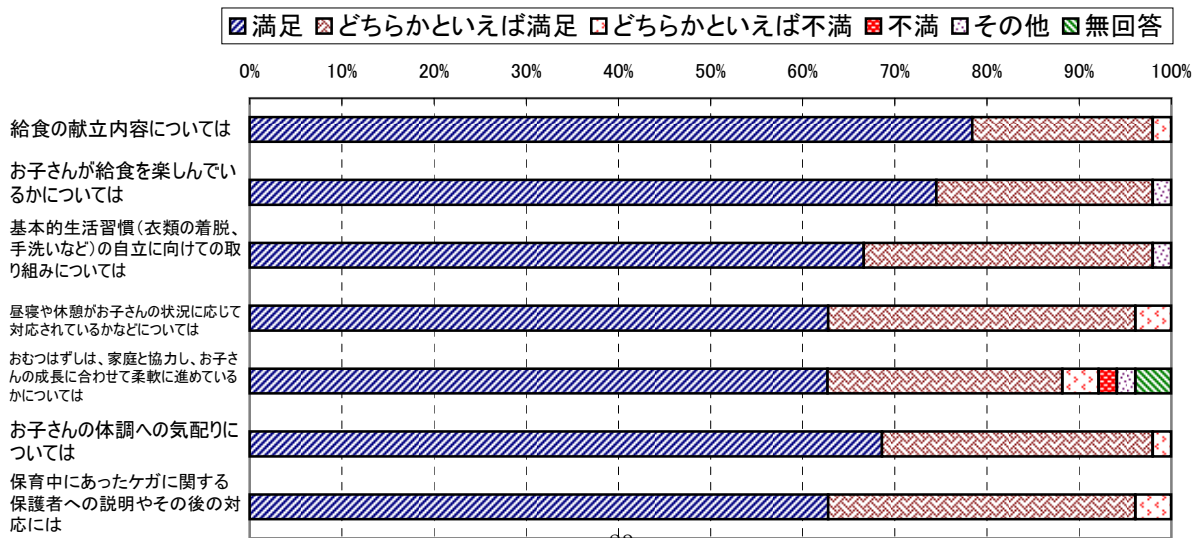


(%)

### ●「生活」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	78.4	19.6	2.0	0.0	0.0	0.0	100
お父さんが給食を楽しんでいるかについては	74.5	23.5	0.0	0.0	2.0	0.0	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	66.7	31.4	0.0	0.0	2.0	0.0	100
昼寝や休憩がお父さんの状況に応じて対応されているかなどについては	62.7	33.3	3.9	0.0	0.0	0.0	100
おむつはずしは、家庭と協力し、お父さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	62.7	25.5	3.9	2.0	2.0	3.9	100
お父さんの体調への気配りについては	68.6	29.4	2.0	0.0	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	62.7	33.3	3.9	0.0	0.0	0.0	100

### 日常の保育内容「生活」について



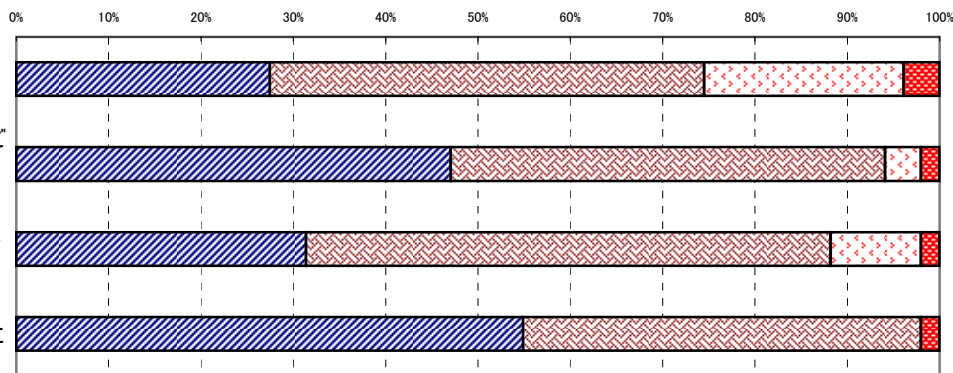
### 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	27.5	47.1	21.6	3.9	0.0	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	47.1	47.1	3.9	2.0	0.0	0.0	100
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	31.4	56.9	9.8	2.0	0.0	0.0	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	54.9	43.1	0.0	2.0	0.0	0.0	100

#### 快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



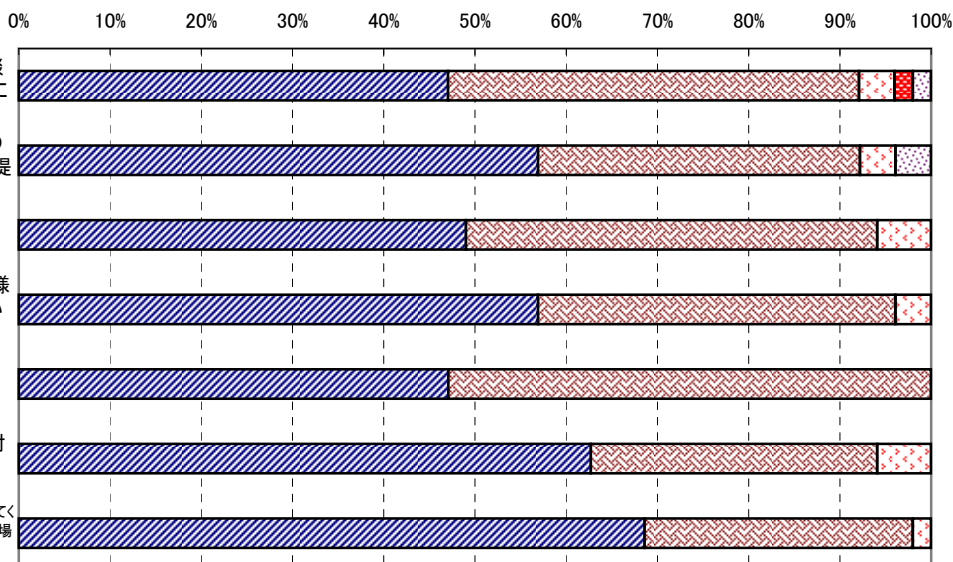
### 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	47.1	45.1	3.9	2.0	2.0	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	56.9	35.3	3.9	0.0	3.9	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	49.0	45.1	5.9	0.0	0.0	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	56.9	39.2	3.9	0.0	0.0	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	47.1	52.9	0.0	0.0	0.0	0.0	100
保護者からの相談事への対応には	62.7	31.4	5.9	0.0	0.0	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	68.6	29.4	2.0	0.0	0.0	0.0	100

#### 園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



### 問7 職員の対応について

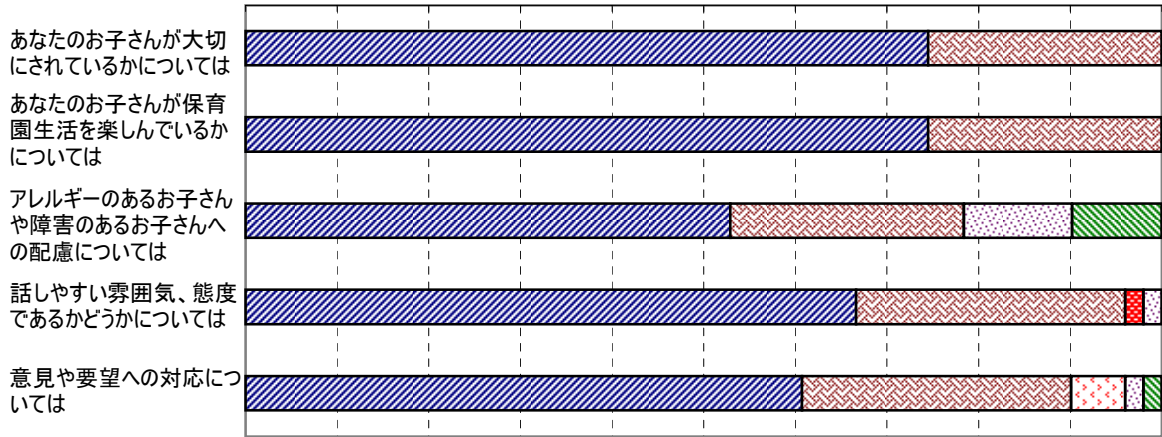
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	74.5	25.5	0.0	0.0	0.0	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	74.5	25.5	0.0	0.0	0.0	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	52.9	25.5	0.0	0.0	11.8	9.8	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	66.7	29.4	0.0	2.0	2.0	0.0	100
意見や要望への対応については	60.8	29.4	5.9	0.0	2.0	2.0	100

#### 職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

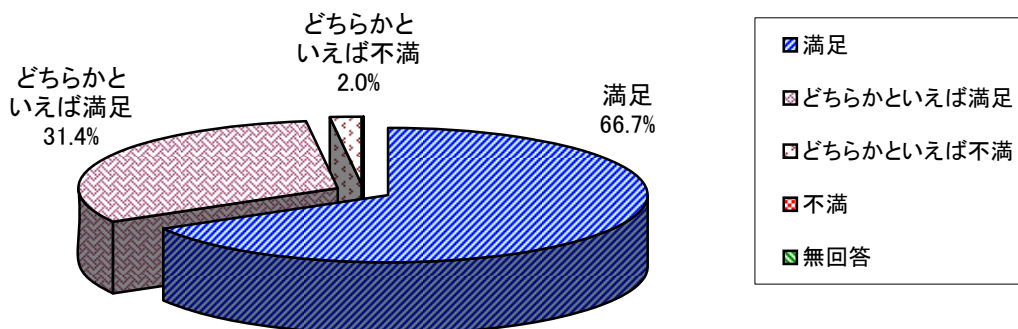


### 問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	66.7	31.4	2.0	0.0	0.0	100

#### 総合満足度





## 利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 2009年2月6日（金）9:00～17:00

2009年2月9日（月）9:00～17:00

両日とも9:00～12:40の時間帯を中心に保育観察を実施し、会話の中で適宜聞きとりを行いました。

### 0歳児クラス

朝、保育士は子どもと保護者にやさしく声かけをしています。保護者から子どもを預かり、抱っこして部屋に連れて来ますが、泣く子を見かけませんでした。その後、1歳児の部屋の奥にあるトイレのそばでオムツを換えてもらったり、絵本を読んでもらったりしています。「おやつを食べようね。」という保育士の声で、保育士も手伝って手をおしぼりで拭いてから、牛乳とビスケットのおやつを食べ始めました。テーブルの前に座っている子とミニテーブルつきの椅子に座っている子がいます。食べる速さが違って、保育士はせかさずゆったり見守っています。

遊びの場面では、歌いながら手遊びをしたり、ブロック、絵本、保育士手作りのおもちゃなど、お気に入りのおもちゃで遊んだりしています。

天気のよい日は、散歩や公園遊びに出かけますが、観察日は体調が優れない子どもが部屋に1人の保育士と残り、月齢が高くてしっかり歩くことができる3～4人の子どもは保育士と手をつなぎ、ほかの子どもはバギーに乗って行きました。途中で花や乗り物や店のディスプレイを見たり、公園に着いてからも、保育士の吹くシャボン玉を追いかけようとしていたり土手をお尻ですべったり、楽しそうです。遊具で遊びたい子やちょっと歩き始めた子も、保育士に支援をしてもらい、満足そうでした。

子どもたちは、給食の離乳食や補充のミルクも午睡に入るのも、一人ひとりのペースが大切にされて、保育士に見守られながら過ごしています。

### 1歳児クラス

子どもたちは、観察日には全員2歳になっていて、しっかり会話ができたり歩いたりしている子がほとんどです。朝の会での返事や、おやつや給食を食べるときの「いただきます」のあいさつも上手にできます。オムツはパンツ型のもので立ったまま換えてもらっています。パンツに絵が描いてあるので、自分のものが分かり、調査員に1人が絵を見せると、次々に見せに来ました。水洗トイレに座って自分で用を足せる子もいます。保育士は歌や手遊び、読み聞かせを保育によく取り入れています。子どもたちも歌ったり聞いたりしています。

観察日には、少し離れた上品濃公園まで散歩に出かけました。1人の保育士が6人乗りのバギーを押し、前後にそれぞれ2人の子どもと手をつないだ保育士がついて出発しました。乗り物が大好きで、途中でパトカーやトレーラー、消防署の消防車を見て喜んでいました。広々した公園に着くと、保育士は遊ばせる前に危険がないかしっかりと見回りをしています。その後、保育士が持って行ったボールで遊んだり、ベンチで汽車ごっこをしたり、十分体を動かして遊びました。帰る時は、疲れた子とバギーに乗るのを代わって歩く子もいます。給食後、0歳児といっしょに午睡をしています。よく遊んだので眠りに入るのも早いようでした。

### 2歳児クラス

朝の自由遊びでは、友達と木製の薄い積み木をつなげたり積み上げたり、保育士の読み聞かせに引き込まれてみんなで反応したり、友達との関わりが多くなってきているのが分かりました。手洗いでは歌を歌いながらみんなでしっかり洗っています。散歩に行く前の着替えも自分でできる子がいます。

散歩の途中、保育士は危険がないか気をつけています。子どもたちは「いい匂いだねー」と言いながら梅の花を拾って川に流してみんなで眺めたり、忍者歩きやマラソンごっこをしたり、楽しんでいます。

トイレの場面では、「立っておしっこできた」と言った男の子は「すごいねえ」とほめてもらっていま

した。

今度行う音楽発表会の話があり、保育士が手作りした楽器と動物のお面を見せて、好きなお面を子ども自身に選ばせ、それに合う楽器を渡しました。紙製のバイオリンや太鼓を、子どもたちは大事そうに扱っています。中にはお面を選ぶことを嫌がる子がいましたが、保育士は無理強いをしませんでした。

その後、新聞紙で作った釣竿やバットで遊んだり、ちぎった新聞紙を保育士がうちわで散らすと追いかけて喜んだり、それをさっと片付けたり、一連の流れが遊びになっているようです。保育士は個性がはっきりしてきた子どもたちの一人ひとりに対応していました。

### 3 歳児クラス

3 歳児は自分のクラスだけで過ごすこともありますが、4、5 歳児といっしょに朝の自由遊びをします。積み木を高く積みっこしたり、ままごとで、本物のお鍋や器で「煮えたよ」「どうぞ」などと言いながら遊んだりしています。4、5 歳児中心の「こま回し」や「指編み」を見たり、挑戦したりする子もいます。

この後の「うたおう会」では、前列の椅子にすばやく座りました。保育士の話もしっかり聞き、4、5 歳児の子どもたちを見習って一生懸命歌っていました。「うたおう会」の後、4 歳の誕生日を迎えた子どもが保育士手作りの冠をかぶせてもらい、みんなで誕生日の歌を歌いました。本人もクラスの子どもたちも嬉しそうでした。

この日はたこ揚げをするのは2回目で、3、4、5 歳で上品濃公園に行きました。5 歳児に手をつないでもらって道路の内側を歩いて行きます。風を受けやすいたこなのでよく揚がっていました。走り回っている途中でも、中には保育士の膝にしがみつきに来る子もいます。保育士はやさしく受け止めています。

給食当番などでもできるようになり、乳児クラスのお世話もできるところと、まだ甘えたいところの両方の顔を見せる子どもたちの気持ちを汲んで、保育士は支援をしていました。

### 4、5 歳児クラス

4、5 歳児は同じ部屋で、ほとんどの時間をいっしょに過ごします。自由遊びのこま回しが上手で「こま回し名人」のメダルをもらったり、「うたおう会」でも、保育士の指導でよい姿勢でのびのびと歌ったりしています。見学に来る乳児ばかりでなく4 歳児にとっても5 歳児は目標になっているようです。公園に行くときには4、5 歳児同士で手をつなぎ、5 歳児が道路側を歩いています。公園ではかけっこや縄跳びをして動き回っています。前跳びが30 回できると「縄跳び名人」のメダルがもらえるとがんばっていました。

観察第2 日目の公園遊びでは3 歳児といっしょにたこ揚げをしました。5 歳児は、自分たちで和紙を染め、たこを作りました。1 回目のたこ揚げではよく揚がらなかったようですが、この日は走り回りよく揚がっていました。中には走りながらたこ糸をほどいて揚げていくコツをつかんでいる子もいます。3 歳の子がぶつかって糸をからませたらほどいてやっている子もいました。

給食当番も慣れていて手分けしてテーブルを拭いたり食器を配ったりします。食事の歌を歌い「いただきます」の合図をして食べ始めます。ほとんどの子は、おかわりをしてしっかり食べています。5 歳児は午睡をしない日もありますが、この日は午睡がありよく運動したためかすぐに寝入っていました。

保育室には、「ことば集め」や、子どもたちが持ってきた「天気予報」「オバマ大統領」「なまはげ」など多彩な新聞記事が掲示されていて、子どもたちの旺盛な好奇心を見ることができました。

乳児の世話もよくできる頼もしいお兄さんお姉さんとしてがんばっている子どもたちです。

### まとめ

すべてのクラスの子どもたちはよく歌を歌い、園には歌声が響いています。また、散歩や公園遊びが大好きで、十分体を動かして遊び込んでいます。

乳児は、一人ひとりのペースが大切にされ、保育士は温かく見守っています。幼児はいろいろなことに挑戦し、周りのことに関心を持ちながら経験を増やしていくのを、保育士は連携して支援しています。

## 事業者コメント

### 第三者評価の感想

開園して3年目、日々時間におわれながらも保育理念・保育目標に向かって職員の足並みが揃いにじいる保育園サクセス東戸塚らしい保育のリズムがやっと流れはじめた状態での第三者評価の受審。正直“忙しい、忙しい”と駆け足状態の日々に、どのように受け入れ取り組んでいったら良いか気が重く不安なスタートでした。

自己評価目標への記入、保育者としてあたり前と思いついて何気なくやっていることが文章化され、項目を一つ一つ確認することにより一人々の認識の違いに気付き、改めてこの時期に第三者評価を受審することの意義を思い知らされました。

全職員で話し合いをすることにより、各々色々な考え方はあるけれどより良い保育をするために大事なこと“子どもたちへの深い愛情はみんな同じ想いでつながっている”という共通認識ができたことも大きな成果でした。

利用者アンケートの回収率が大変高かったことに驚き、感謝の気持ちと共に子どもたちにとっても保護者にとってもより“陽だまりのような温かい園”にし、保護者の皆さんの想いに答えていければと深く胸にとめております。

今後の改善点や課題が浮き彫りになったことについては更に、皆で話し合いをかさね見直し・検討しより良い保育の質の向上へと努力していきたいと思います。

評価機関“市民セクターよこはま”の調査員の皆様、評価のみでなく取り組みの手薄だった色々な今後の課題にきめ細かくアドバイスして下さい、力づけて下さったことに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

にじいる保育園サクセス東戸塚

園長 齋藤 法子

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/index.html>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.rakuraku.or.jp/hyouka/>

---

特定非営利活動法人



評価実施機関：

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま 評価事業部

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

横浜市指定管理者第三者評価機関 認定番号18-10

介護サービス情報の公表 神奈川県指定調査機関 08

〒231-0013 横浜市中区住吉町2-26 洋服会館ビル2F

TEL 045-222-6501 FAX 045-222-6502 <http://www.shimin-sector.jp>

---